

● 世界の主な地震

令和 8 年（2026 年）4 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

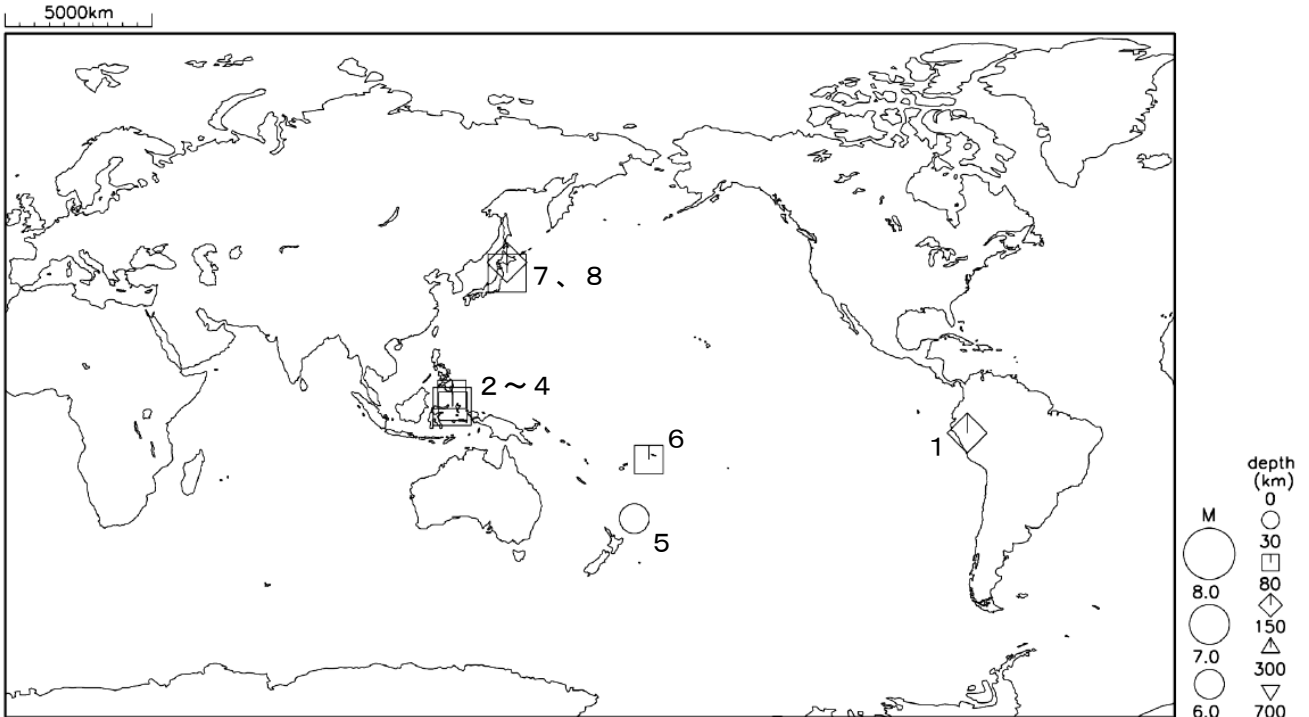


図 1 令和 8 年（2026 年）4 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和 8 年（2026 年）4 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

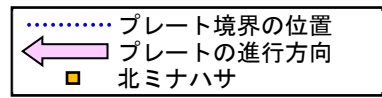
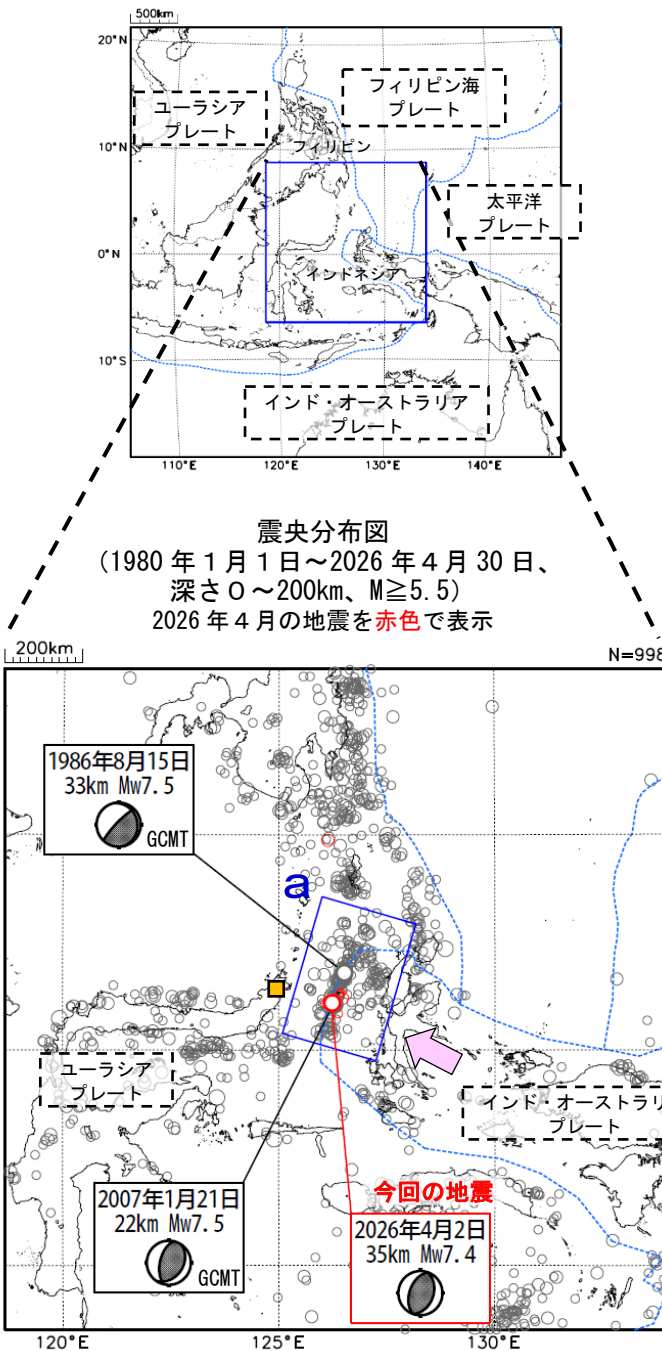
番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	04月01日20時20分	S 7° 1.1′	W 76° 11.5′	126			6.0	ペルー北部			
2	04月02日07時48分	N 1° 5.5′	E126° 14.1′	35			(7.4)	モロッカ海北部	死者 1 人など 津波観測 0.75m (北ミナハサ) など		○
3	04月02日12時23分	N 1° 12.1′	E126° 28.4′	35			6.2	モロッカ海北部			
4	04月04日19時34分	N 4° 52.5′	E126° 8.3′	67			6.0	インドネシア、タラウド諸島			
5	04月16日22時30分	S32° 12.5′	W178° 3.2′	10			6.0	ケルマデック諸島南方			
6	04月20日02時34分	S15° 7.5′	W173° 36.9′	36			6.1	トンガ諸島			
7	04月20日16時52分	N39° 24.3′	E143° 2.7′	19		7.7	(7.4)	三陸沖	負傷者 10 人 津波観測 79cm (久慈港) など	○	
8	04月27日05時23分	N40° 34.6′	E 13° 59.3′	83		6.2	(6.0)	十勝地方南部	負傷者 1 人		

- 震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2026 年 5 月 7 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mw の欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMT による。
- 被害状況は、4 月 20 日 16 時 52 分の地震及び 4 月 27 日 05 時 23 分の地震によるものは総務省消防庁 (令和 8 年 5 月 7 日 14 時 00 分現在) による。他は OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2026 年 5 月 7 日現在) による。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。  
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA: National Oceanic and Atmospheric Administration) による (2026 年 5 月 7 日現在)。

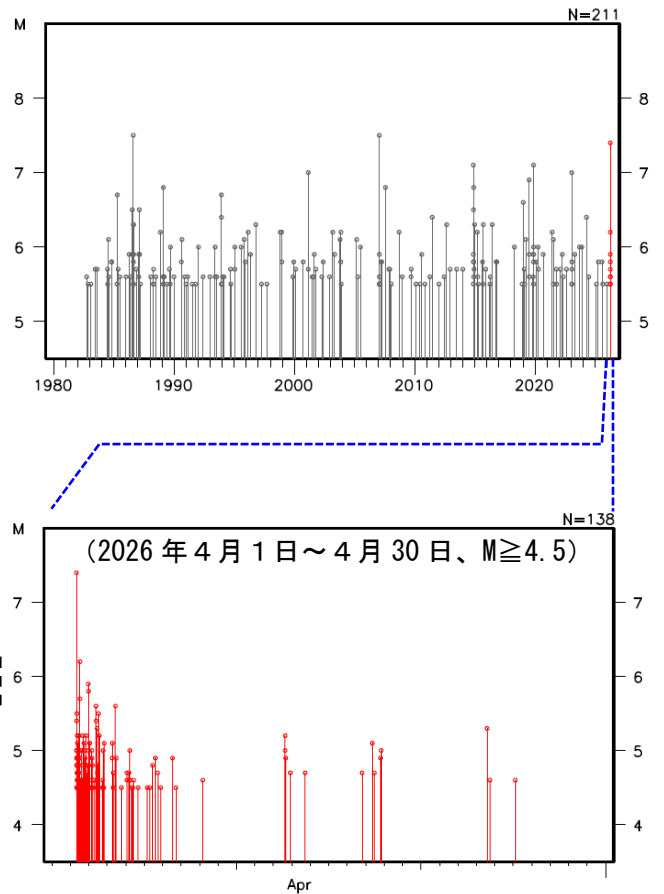
# 4月2日 モルッカ海北部の地震

2026年4月2日07時48分(日本時間、以下同じ)にモルッカ海北部の深さ35kmでMw7.4(Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード)の地震が発生した。この地震の発震機構(気象庁によるCMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。気象庁はこの地震に対して、同日08時19分に遠地地震に関する情報(日本沿岸で若干の海面変動あり)を発表した。この地震により、北ミナハサ(インドネシア)で0.75mなどの津波を観測した。今回の地震により、死者1人、負傷者1人などの被害が生じた。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)ではM7.0以上の地震が時々発生している。2007年1月21日にはMw7.5(Global CMTによる)の地震が発生し、死者3人、負傷者4人などの被害が生じた。



領域 a 内の M-T 図



※震源要素は、米国地質調査所(USGS)による(2026年5月1日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは、2026年4月2日の地震は気象庁による、それ以外の地震はGlobal CMTによる。津波の高さは米国海洋大気庁(NOAA)による(2026年5月1日現在)。今回地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2026年5月1日現在)、その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置とプレートの進行方向はBird(2003)<sup>\*1</sup>より引用。

<sup>\*1</sup>参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.